



HPI「辻よし子と歩む会」で検索

# 辻よし子と歩む会

「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表：柏倉倫子・岩田純子

新人だからこそ、できることがある。

**「議会に風穴を！」を掲げて当選。  
議員活動を振り返り、次の一步を進めます。**

**「おかしい」と思うことを見過ごさず、  
調査研究の毎日です**

私は政党にも、大きな組織にも所属していません。地縁、血縁のしがらみもありません。議会では、組織の方針に縛られることなく、自由な発想で自らの考えをストレートに発言しています。しかし、その分、ひと倍勉強が必要です。

議会では、毎回、たくさんの議案が審議されます。議員になる前に議会を傍聴していたときは、出される議案に対して質疑も討論もないまま「異議なし」と、次々に可決されていく様子を見て、なんと形式的で退屈なのだろうと思うことがありました。

議員になった今は、「異議なし」と簡単には言えない責任の重さを感じています。議案の中身を詳しく調べていくと、市民の暮らしに悪い影響を与える恐れのあるものや、もともになっている国の制度自体に欠陥があるものが、少なくないからです。こうした問題点は、議案の文章を読んだだけで気付くものではなく、様々な角度から調べることで初めて見えてきます。

議会に臨んで議員がする仕事は、資料を集めて研究し、市の職員から実情を聞き取り、賛否を慎重に考え、自分の意見をまとめるという地道な作業の積み重ねです。

「前例」、「横並び」、「国の方針」に従えば賛成するのが当たり前のような議案であっても、あきる野市民にとってどうなのかという視点で見たとき、賛成できないものもあります。そこには、政治の常識に縛られない、当たり前の市民感覚を保つことが必要となります。

この 1 年あまりの議会で、「これはどうみてもおかしい」と考え、反対意見を述べた議案がいくつもありました。しかし、賛成側の議員からはなんの意見も出

ないまま、可決されてしまうことも少なくありませんでした。多数決による決定は、その前に十分な議論がされることが前提です。今の議会には議論が不足しているように感じます。

**集めた資料をもとに、議会の場で  
問題点を浮き彫りにしました**

議会の重要な役割の一つは行政をチェックすることです。あきる野市役所には非常勤等を含めれば 1,000 人近い職員がいます。年間の予算は一般会計だけで約 300 億円。8 万人の市民の暮らしを支える巨大組織です。一議員が、そこに潜む問題を発見し指摘するのは、決して容易なことではありません。まして、市職員はその分野のプロとして仕事し、情報は行政の側にあるのですから。

これまでの 5 回の一般質問では、情報公開制度を活用して様々な資料を行政から引き出しました。また、資料を読んでも分からない不明点や疑問点は、その都度担当課に聞きに行きました。その上で、見過ごすことができないと感じた問題点を議会の場で追及しました。一般質問だけで、大きく流れを変えることはできませんが、それぞれの問題点は浮き彫りにできたと思います。

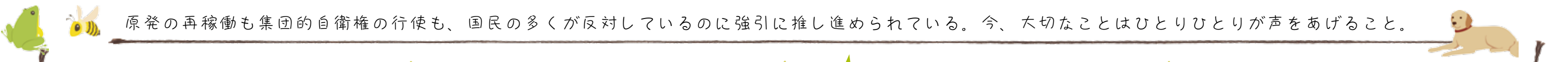
主な議会活動を次頁以降にまとめ、自分なりの評価を試みました。次の一步につなげるため、ぜひ、みなさんの声をお寄せください。

(辻よし子)

**発言に説得力を持つためには、  
裏付けが必要。**







引田駅北口の土地区画整理事業は財政面から民主主義の観点からも問題があり、今からでも見直すべきです。

小さな声、社会的弱者が大切にされる社会は、みんなにとっても暮らしやすい社会。それを目指すのが政治家の仕事。

原発の再稼働も集団的自衛権の行使も、国民の多くが反対しているのに強引に押し進められている。今、大切なことはひとりひとりが声をあげること。

## 教育 教育長の選任を形骸化させないために

教育長にどのような人物になるかは、あきる野市の教育に大きく影響します。議会は、市長の選んだ候補者が教育長にふさわしい資質や能力を持っているかチェックし、場合によっては認めないという判断を下す権限を持っています。ところが、議員に与えられる情報は略歴と市長からの簡単な紹介だけ。これでどうやって責任のある判断を下せるのかと、2015年10月の臨時議会で質問しました。市長から納得のいく答弁は得られませんでした。一つの成果は、議長が議会としても検討していくと発言したことでした。それを受けて、現在、議会運営委員会で検討中です。

☹️ 一石を投じました。

## 社会教育から政治活動を排除するのは違法です

2015年11月、教育委員会が、公民館に置くチラシやポスターを一方向的に制限する基準を作り、大きな問題となりました。その基準がいかに社会教育法の理念に反するかを2016年3月の一般質問で明らかにしました。市民からの粘り強い撤回の働きかけもあり、この基準は2016年8月に廃止されました。素晴らしい成果です。

ところが、それと前後して、今度は市民文化祭において政治的な主義・主張を含む展示・催し物は対象にしないという新たな要綱が作られてしまいました。そこで、2016年9月の一般質問でこの問題を取り上げ、憲法に保障された表現の自由や社会教育法の理念に反することを明らかにしました。その結果、教育長から「文化祭においても政治活動は認められる」という答弁を引き出すことができました。

😊 解決の一助になりました。

## 教員の忙しさは限界を超えています

研究機関による教員1万人を対象にした調査によると、なんと95%の小学校教員が、「授業の準備をする時間が足りない」と回答。教員の忙しさは既に限界を超えています。

そうした中、2016年6月の議会で、オリンピック・パラ

リンピック教育の事業費が補正予算として出されました。市内の全小中学校で、先生は毎週オリンピック・パラリンピックに関わる授業を計画し、年度末には報告書を提出しなければなりません。そこで教育委員会に、教員の多忙の現状をどう認識しているのか問いました。しかし、部長答弁には、現場の切実さに寄り添おうとする姿勢が見られませんでした。

☹️ 行政に声が届きませんでした。

## 開発 住民の合意形成が不十分であることを明らかにしました

人口減少と高齢化が進む中、武蔵引田駅前の大規模開発は本当に必要なのでしょうか。住民の多くは、年金生活の高齢者で、このままそっとしておいて欲しいと望む人が少なくありません。

本当に住民の声を聞いて決定した事業なのか過去の様々な記録を調べてみると、「市民参加型のまちづくり」と謳いながら、最初から区画整理事業ありきで進められ、地権者の声を反映させるはずの協議会が、区画整理事業を推進する役割を担い、事業に反対する声が抑え込まれていることが読み取れました。その非民主的な体質を市民の前にオープンにするため、2016年6月の一般質問で取り上げ、「これで市民参加型のまちづくりと言えるのか」と行政側に問い質しました。

さらに、2016年9月の一般質問では、あきる野市が事業の認可をおこなう東京都に対して、「反対者は一人」という実態とかけ離れた資料を提出していたという、とんでもない事実を明らかにしました。これに対する市長の答弁は、住民の意向調査の結果は都の認可を左右するようなファクター（要素）ではない、という内容。住民の意向がいかに軽く扱われているかが明らかになりました。

😊 住民軽視の実態を明らかにしました。



## 環境 実効性のある生物多様性保全条例に

議員になって最初に行政視察に行った場所は、広島県北広島町です。日本で最初に生物多様性保全条例を策定した自治体だからです。2016年9月の一般質問では、先進地の事例や、これまでの環境保全活動での経験を踏まえながら、実効性のある条例につながるよう、いくつかの提案をしました。

😊 具体性のある提案ができました。

## ミゾゴイの繁殖地に配慮した工事を

三内川の砂防工事では、貴重なミゾゴイの営巣地が破壊され、テレビや新聞でも報じられました。

引き続き上流でおこなわれる工事においては、十分な保全対策を取るよう2015年12月の一般質問で取り上げました。そのときの答弁に基づいて、市と地質の専門家が現地を視察し、専門家の意見を都に提出しました。その結果、環境に配慮した工法が取り入れられました。

😊 答弁の結果が活かされました。

## 平井川の廃車が撤去されました

平井川の草花小学校の南側の河原には、長年、キャンピングカーが放置され、安全面からも景観的にも問題となっていました。毎月平井川で自然観察会をおこなっている「川原で遊ぼう会」が、以前から市に撤去を要望していましたが、10年以上何の進展もありませんでした。そこで、議会の場で改めて積極的な解決策を求めました。その結果、2016年6月についに廃車の撤去が実現しました。

😊 長年の願いが実現しました。



## 原発事故 住宅支援の継続を求める意見書を政府に出すよう提案しました

原発事故避難者の子どもたちが学校でいじめを受けていることが大きく報道されました。これは学校だけではなく、社会全体の問題です。特に政府の自主避難者に対する誤った政策が、差別や偏見を生み出しているのではないのでしょうか。

今年3月に自主避難者への住宅支援が打ち切られることに対し、あきる野市議会として政府に継続を求める意見書を出すことを2016年6月議会で提案しました。

しかし、「自主避難者には自己責任があるのではないか」、「自主避難を支援することは復興の妨げにならないか」といった考えが根強く、反対多数で否決されてしまいました。

☹️ 反対意見を説得することができませんでした。

## 復興予算の間違った使われ方を指摘

高尾にあるごみ焼却炉の建設に、東日本大震災の復興特別交付金の約8億円が使われていたのをご存じでしょうか。その余剰金を返却する補正予算が2016年9月の議会に出されました。8億円を受け取る予算が可決されたのは2013年3月。当時の議事録を調べ、震災瓦礫を受け入れる可能性がほとんどなかったにもかかわらず、便利な制度だからと8億円を受け取っていたことがわかりました。倫理観を欠いた判断であったことを指摘しました。

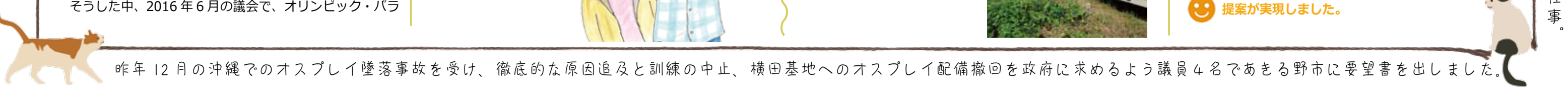
☹️ 一石を投じました。

## 一部事務組合 予算・決算の報告をホームページで公開すべき

ひので斎場は、あきる野市・日の出町・奥多摩町・檜原村の4市町村が共同で管理運営し、あきる野市からは、毎年約1億円の税金が支払われています。しかし、その予算・決算の内容が市民にはほとんど知られていません。そこで、斎場組合の議会において、HPに予算・決算の報告をすべきではないかと提案しました。その結果、ひので斎場のHPに概要が掲載されるようになりました。

😊 提案が実現しました。

昨年12月の沖縄でのオスプレイ墜落事故を受け、徹底的な原因追及と訓練の中止、横田基地へのオスプレイ配備撤回を政府に求めるよう議員4名であきる野市に要望書を出しました。



## 議会改革

●議員の長期休暇に関する条例改正に、産休の特例を入れることを提案し、実現しました。

●採決の前に提出する賛否表に、当日の質疑や討論を聞いた上で判断できるように「保留」を加えることを提案し、実現しました。

●議会での各議員の賛否を、HPと『ギカイの時間』に掲載することを委員会で提案しました。『ギカイの時間』についてはまだ結論が出ていませんが、HPには掲載されるようになりました。

●一人会派の議員は、議会運営委員会と会派代表者会議への参加が認められていないため、毎回オブザーバーとして出席しています。議会基本条例には一人会派を認める条項があることから改善を求めてきました。議会運営委員会については改定する方向で調整が

始められました。

●議員の期末手当を値上げする議案が2年続けて出されました。いずれも反対討論をしましたが、賛成多数で可決されてしまいました。私自身の値上げ分は法務省に供託しています。

●議員定数の削減については、経費軽減が目的であれば議員の報酬と期末手当を見直すべきであり、多様な市民の声を政治に反映させるために定数削減には反対しました。

●市議選、市長選の選挙運動公費を引き上げる議案に反対しました。賛成多数で可決されてしまいました。私の反対討論に納得し、意見を変えた議員がいました。

●一般質問に対する行政の答弁が、根拠に乏しく問題であることを指摘した結果、最終日に行政側が答弁の修正をおこないました。



小さな風穴があきました。

### 賛否の割れた主な審議（5回の議会を振り返って）

| 審議時期    | （○は賛成、×は反対）            | くさしぎ<br>(辻) | 自民党<br>志清会 | 公明党 | 市議会<br>自民党 | 未来 | 共産党    | 結果  |
|---------|------------------------|-------------|------------|-----|------------|----|--------|-----|
| 2015.12 | 市議会議員の期末手当を引き上げる条例改正   | ×           | ○          | ○   | ○          | ○  | ×      | 可決  |
| 2015.12 | マイナンバー制度に基づく条例の制定と改定   | ×           | ○          | ○   | ○          | ○  | ×      | 可決  |
| 2016.3  | 平成28年度 一般会計予算          | ×           | ○          | ○   | ×          | ×  | ×      | 認定  |
| 2016.3  | 引田駅北口土地区画整理事業の特別会計予算   | ×           | ○          | ○   | ×          | ×  | ×      | 認定  |
| 2016.6  | 引田駅北口土地区画整理事業に対する陳情    | ○           | ×          | ×   | ○          | ○  | ○      | 不採択 |
| 2016.6  | 原発事故避難者の住宅支援の継続を求める意見書 | ○           | ×          | ×   | ×          | ○  | ○      | 否決  |
| 2016.9  | 平成27年度 一般会計決算          | ×           | ○          | ○   | ×          | ×  | ×      | 認定  |
| 2016.9  | 平成27年度 下水道事業 特別会計決算    | ×           | ○          | ○   | ○          | ○  | ○      | 認定  |
| 2016.9  | 陳情 全学年で35人学級実施を要望する意見書 | ○           | ×          | ×   | ×          | ×  | ○      | 不採択 |
| 2016.12 | 市議会議員の期末手当を引き上げる条例改正   | ×           | ○          | ○   | ×          | ×  | ×      | 可決  |
| 2016.12 | 選挙運動の公費負担を引き上げる条例改正    | ×           | ○          | ○   | ○          | ○  | △ 1名反対 | 可決  |
| 2016.12 | 議員定数を2名減らす条例改正         | ×           | ×          | ×   | ○          | ○  | ×      | 否決  |

（討議資料）



1960年生まれ。大学で生物学を専攻し、環境問題に関わる。その後、教育学を学び、小学校教員を経た後、タイの農村教育にボランティアとして関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぶ会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。

3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2013年、市議選に立候補、惜しくも次点。2015年10月の市議会議員補欠選挙で1万票以上の支持を得て当選。議会では一人会派「くさしぎ」として活動中。現在、夫、大1・中3の息子、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」会員募集中！  
年会費：1,000円（カンパ歓迎！）

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行

（店番）〇一九（ゼロイチキョウ）店（019）

当座 0430053



HPをご覧ください！

